

4. 児童学科の学修で取得できる資格について

1) 保育士資格取得について（学生便覧 p. 143 以降参照）

児童学科は指定保育士養成校としての指定を受けていますので、保育士資格取得に必要な教養科目（共通教育科目）、保育士資格に必要な必修、選択科目（専門科目・資格科目）の単位を修得し、卒業した人には保育士の資格が与えられます。

保育士資格取得に関する履修方法、保育実習、保育実習参加（派遣）基準、資格取得に必要な科目・単位、については学生便覧（pp. 143-145）に記載してありますので必ず目を通して下さい。

2) 教育職員免許状の取得について（学生便覧 p. 117 以降参照）

①児童学科は平成 19 年度より幼稚園・小学校教諭の課程認定を、また平成 28 年度より特別支援学校教諭の課程認定を受けましたので、教育職員免許法に定められている条件を満たせば幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）を取得することができます。ただし、特別支援学校教諭一種免許状を取得するためには、基礎免許として幼稚園教諭または小学校教諭のどちらかを必ず合わせて取得しなければなりません。免許状を取得するために修得しなければならない科目、単位等については学生便覧（pp. 117-129、中・高・栄養教諭を除く）を熟読して下さい。

②資格科目の「教職に関する科目」については、児童学科の特例を除き卒業に必要な 124 単位に含まれません。

3) 資格取得にかかわる経費について

児童学科では、資格取得に必要な実習のための経費（実習費）を別途徴収します。

5. 教育職員免許取得に必要な科目・単位数一覧

幼稚園教諭一種・小学校教諭一種免許状を取得するために、以下に挙げる科目及び単位数を修得しなければなりません。特別支援学校教諭一種免許は、幼稚園教諭一種または小学校教諭一種免許が基礎免許（基礎免許が取得できていなければ特別支援教諭免許は取得できない）ですので、まず幼稚園または小学校教諭一種免許状を取る必要があります。

(1)66条の6に定める科目

法規上、教育職員免許を取得するためには、日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション2単位及び情報機器の操作2単位を修得することが必要です。

（幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状、栄養教諭一種免許状、栄養教諭二種免許状共通）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目		備考
科目	単位数	授業科目	単位数	
日本国憲法	2	法学入門(日本国憲法)	2	
体育	2	健康スポーツ演習 a 健康スポーツ演習 b 健康スポーツ演習 c 健康スポーツ演習 d 体育講義 体育実技	1 1 2 2 1 1	これら 6 科目より 2 単位選択必修
外国語コミュニケーション	2	Listening & Speaking 1 Listening & Speaking 2 Communication English 1 Communication English 2 フランス語入門 1 フランス語入門 2 ドイツ語入門 1 ドイツ語入門 2 中国語入門 1 中国語入門 2 韓国語入門 1 韓国語入門 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	これら 12 科目より 2 単位選択必修
情報機器の操作	2	コンピュータ演習 a コンピュータ演習 b	1 1	

(2)教育の基礎的理解に関する科目等

法規上、「教育の基礎的理解に関する科目等」は、幼稚園一種免許状 21 単位以上、小学校一種免許状 27 単位以上を修得することが必要とされていますが、本学においては次の表のとおり修得しなければなりません。

なお、「教育の基礎的理解に関する科目等」は免許状取得に必要な単位であり、基本的には卒業に必要な単位に算入されません。しかし、幼稚園・小学校一種免許状取得に必要な科目のうち、児童学科専門科目として開設する科目は、卒業に必要な単位に算入することができます。

幼稚園教諭一種免許状（必修 24 単位、選択 6 単位）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修方法等
			必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理※	2		
		保育原理※	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教師・保育者論※	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育・保育制度論	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学※		2	
		発達心理学※	2		
		発達臨床心理学※		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	発達障害の理解と支援※		2	
		特別支援教育論	1		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	カリキュラム論※	2		
生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	1		
		幼児理解の理論及び方法	子ども理解と援助※	1	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談論	2		
教育実践に関する科目	教育実習	初等教育実習指導（幼稚園）	1		
		初等教育実習 A	1		
		初等教育実習 B	3		
	学校体験活動				
教職実践演習	保育・教職実践演習※	2			

※ 卒業に必要な単位に算入される科目

小学校教諭一種免許状（必修 28 単位、選択 4 単位）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修方法等
			必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理※	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教師・保育者論※	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育・保育制度論	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学※	2		
		発達心理学※		2	
		発達臨床心理学※		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1		
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	カリキュラム論※	2			
等に関する科目 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の指導法	1		
	特別活動の指導法	特別活動論	2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	1		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	1		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談論	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	1		
関する科目 教育実践に	教育実習	初等教育実習指導（小学校）	1		
		初等教育実習 C	4		
	学校体験活動				
	教職実践演習	小学校教職実践演習	2		

※ 卒業に必要な単位に算入される科目

(3) 大学が独自に設定する科目

最低修得単位を超えて履修した「教科（領域）及び教科（保育内容）の指導法に関する科目」又は「教育に関する基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて以下の単位を修得しなければなりません。

幼稚園教諭一種免許状 14 単位以上（専門科目「児童学概論」を含みます）

小学校教諭一種免許状 2 単位以上（専門科目「初等教育演習 A～D」を含みます）

※幼稚園教諭一種免許状における大学が独自に設定する科目 14 単位は、「教育に関する基礎的理解に関する科目等」必修 24 単位と選択 6 単位、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」必修 20 単位、専門科目「児童学概論（2 単位）」を全て修得することにより満たすことができます。

(4) 教科（領域）及び教科（保育内容）の指導法に関する科目

・幼稚園一種免許状

法規上、幼稚園教諭一種免許状における「領域及び保育内容の指導法に関する科目」最低修得単位数は 6 単位ですが、本学では「合計 16 単位以上修得」と規定され、さらに実際に修得しなければならない単位数として「必修 20 単位」と設定されています。

・小学校一種免許状

法規上、小学校教諭一種免許状における「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数は 8 単位ですが、本学では「合計 30 単位以上修得」と規定され、さらに実際に修得しなければならない単位数として「必修（選択必修含む）42 単位」と設定されています。

・教科に関する専門的事項「教科（領域）及び教科（保育内容）の指導法に関する科目」は、免許取得のための単位であると同時に、卒業に必要な単位として数えることができます。

幼稚園教諭一種免許状 ※現代生活学部児童学科対応（必修 20 単位）

免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応する開設授業科目		備考	免許状取得に必要な最低修得単位数	
科 目			授業科目	単位数			
				必修	選択		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康	1		20 単位	
		人間関係	子どもと人間関係	1			
		環境	子どもと環境	1			
		言葉	子どもと言葉	1			
		表現	子どもと表現	1			
			子どもと音楽	1			
	子どもと造形		1				
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			保育内容総論 A	1		
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			保育内容総論 B	2		
				健康の指導法	2		
				人間関係の指導法	2		
				環境の指導法	2		
言葉の指導法				2			
			表現の指導法	2			

小学校教諭一種免許状 ※現代生活学部児童学科対応（必修 40 単位、選択必修 2 単位、選択 4 単位）

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目			備考	免許状取得に必要な最低修得単位数
科目		授業科目	単位数			
			必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語(書写を含む)	国語科教育	2		42 単位
			児童とことば		2	
		社会	社会科教育	2		
		算数	算数科教育	2		
		理科	理科教育	2		
		生活	生活科教育	2		
		音楽	音楽科教育	2		
			子どもと音楽	1		
		図画工作	図画工作科教育	2		
			子どもと造形	1		
		家庭	家庭科教育		2	
	家庭教育論			2		
	体育	体育科教育	2			
		児童体育演習		2		
	外国語	外国語科教育	2			
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	国語(書写を含む。)	国語科教育法	2		
		社会	社会科教育法	2		
		算数	算数科教育法	2		
		理科	理科教育法	2		
生活		生活科教育法	2			
音楽		音楽科教育法	2			
図画工作		図画工作科教育法	2			
家庭		家庭科教育法	2			
体育		体育科教育法	2			
外国語	外国語科教育法	2				

特別支援学校教諭一種免許状 ※現代生活学部児童学科対応（必修 27 単位）

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目			備考	免許取得に必要な最低修得単位数
科目	単位数	授業科目	単位数			
			必修	選択		
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	特別支援教育総論※	2		27 単位
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	障害の基礎的理解※	2		
			知的障害者の心理・生理・病理※	2		
			肢体不自由者の心理・生理・病理※	2		
			病弱者の心理・生理・病理※	2		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		特別支援学校教育課程論※	2		
			知的障害者の教育※	2		
			肢体不自由者の教育※	2		
			病弱者の教育※	2		
なる免許状に定められることと の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	5	視覚障害の理解と支援※	1		
			聴覚障害の理解と支援※	1		
			重複障害の理解と支援※	2		
			発達障害の理解と支援※	2		
心身に障害のある幼児、児童または生徒についての教育実習		3	特別支援教育実習・実習指導	3		

※卒業に必要な単位に算入される科目

6. 幼稚園教諭一種、小学校教諭一種、特別支援学校教諭一種免許状取得の条件

1. 幼稚園教諭一種・小学校教諭一種・特別支援学校教諭一種の各免許状を取得するためには、必ず教育実習を履修する必要があります。教育実習を履修するためには、教育実習に就く直前の学期までの累積 GPA が、2.2 以上であることが必要です。
2. 幼稚園教諭一種免許状取得のためには、教育実習にあたる直前の学期までに開講されている「教育の基礎的理解に関する科目」の必修科目の単位を全て修得していることが原則です。具体的には「教育原理（専門 1 年次）」「保育原理（専門 1 年次）」「教師・保育者論（専門 2 年次）」「教育・保育制度論」（教職 2 年次）「発達心理学（専門 1 年次）」「特別支援教育論（教職 2 年次）」「カリキュラム論（専門 3 年次）」を修得していることが原則です。
3. 幼稚園教諭一種免許状取得に必要な初等教育実習 A、B（幼稚園）を履修するためには、さらに次の条件があります。
 - ①初等教育実習 A を履修するためには、実習の直前学期までの累積 GPA が 2.2 を満たしていること
 - ②初等教育実習 B を履修するためには、専門 2 年次科目の「保育内容総論 B」「健康の指導法」「人間関係の指導法」「環境の指導法」「言葉の指導法」「表現の指導法」の単位を修得していること
4. 小学校教諭一種免許状取得のためには、教育実習にあたる直前の学期までに開講されている「教育の基礎的理解に関する科目」の必修科目の単位を全て修得していることが原則です。具体的には「教育原理（専門 1 年次）」「教師・保育者論（専門 2 年次）」「教育・保育制度論（教職 2 年次）」「教育心理学（専門 1 年次）」「特別支援教育論（教職 2 年次）」「カリキュラム論（専門 3 年次）」を修得していることが原則です。
5. さらに、小学校教諭一種免許状取得に必要な初等教育実習 C（小学校）を履修するためには、「国語科教育法（専門 2 年次）」「社会科教育法（専門 3 年次）」「算数科教育法（専門 3 年次）」「理科教育法（専門 3 年次）」「生活科教育法（専門 2 年次）」「音楽科教育法（専門 3 年次）」「図画工作科教育法（専門 3 年次）」「家庭科教育法（専門 2 年次）」「体育科教育法（専門 3 年次）」「外国語科教育法（専門 3 年次）」の全ての単位を修得していることが原則です。
6. 特別支援学校教諭一種免許状の取得のためには、特別支援教育実習に就く直前の学期までに開講されている「特別支援教育の基礎的理解に関する科目」「特別支援教育領域に関する科目」「免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目」の必修科目の単位を全て修得していることが原則です。具体的には「特別支援教育総論（専門 1 年次）」「障害の基礎的理解（専門 1 年次）」「知的障害者の心理・生理・病理（専門 1 年次）」「肢体不自由者の心理・生理・病理（専門 2 年次）」「病弱者の心理・生理・病理（専門 2 年次）」「特別支援学校教育課程論（専門 1 年次）」「知的障害者の教育（専門 2 年次）」「肢体不自由者の教育（専門 3 年次）」「病弱者の教育（専門 3 年次）」「視覚障害の理解と支援（専門 1 年次）」「聴覚障害の理解と支援（専門 2 年次）」「重複障害の理解と支援（専門 3 年次）」「発達障害の理解と支援（専門 2 年次）」の全ての単位を修得していることが原則です。

7. 児童学科 履修モデル

履修モデルは、学生自身が将来の進路を見据えて、4年間の学修計画を立てるためのガイドラインです。ここでは児童学科で取得できる資格・免許に基づき履修モデルを提示します。将来の進路を考えて1年次より履修計画をたてて下さい。

履修モデルで取得できる資格・免許は次のとおりです。それぞれのモデルの組み合わせも可能です。ただし、いずれの資格・免許も卒業要件単位を満たさなければ取得できません。

- (1)履修モデル「保育」 保育士資格
- (2)履修モデル「幼稚園」 幼稚園教諭一種免許状
- (3)履修モデル「小学校」 小学校教諭一種免許状
- (4)履修モデル「特別支援」 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)

履修モデル表は次のとおり分類されています。

- ①児童学科専門科目
- ②免許・資格に関わる科目のうち資格科目として履修する科目（卒業要件に入らない）
- ③共通教育科目

履修モデル表では、それぞれの資格・免許を取得することを念頭に置き、資格・免許取得に必要な必修科目、選択必修科目、選択科目に記号を付しています。

<表中の記号の説明>

- ▲ 保育士必修科目
- △ 保育士選択科目
- 教職（幼・小）必修科目
- 教職（幼・小）選択科目
- ☆ 教職（幼・小）選択必修科目
- ◆ 教職（特別支援）必修科目
- 共通教育科目卒業要件

児童学科 履修モデル（資格取得に必要な科目及び単位）

①児童学科専門科目

領域	保育	幼稚園	小学校	特別支援	授業科目	単位	形態	年次	備考
学科共通科目	必修科目 （資格・免許に関わらず、必ず履修しなければならない）				児童学概論	2	講義	1	
					発達心理学	2	講義	1	
					保育原理	2	講義	1	
					障害の基礎的理解	2	講義	1	
					教育原理	2	講義	1	
					子どもの保健	2	講義	2	
					児童学研究ゼミA	1	演習	3	
					児童学研究ゼミB	1	演習	3	
					卒業研究A	2	演習	4	
					卒業研究B	2	演習	4	
子どもの心理		□	■		教育心理学	2	講義	1	
	▲	■	■		子どもの理解と援助	1	演習	1	
					青年心理学	2	講義	2	
	△	□	□		発達臨床心理学	2	講義	3	
	△				対人関係の発達	2	講義	3	
	△				人格心理学	2	講義	3	
	△				児童とカウンセリング	2	講義	4	
	△				児童臨床実習AⅠ	1	実習	4	
	△				児童臨床実習AⅡ	1	実習	4	
	△				児童臨床実習BⅠ	1	実習	4	
△				児童臨床実習BⅡ	1	実習	4		
子どもの保育	▲				乳児保育Ⅰ	2	講義	1	
	▲				乳児保育Ⅱ	1	演習	1	
	▲	■	■		教師・保育者論	2	講義	2	
	▲	■			保育内容総論A	1	演習	2	
	▲	■			保育内容総論B	2	講義	2	
	▲	■			健康の指導法	2	演習	2	※
	▲	■			子どもと健康	1	演習	2	※
	▲	■			言葉の指導法	2	演習	2	※
	▲	■			子どもと言葉	1	演習	2	※
	▲	■			人間関係の指導法	2	演習	2	※
	▲	■			子どもと人間関係	1	演習	2	※
	▲	■			環境の指導法	2	演習	2	※
	▲	■			子どもと環境	1	演習	2	※
	▲	■			表現の指導法	2	演習	2	※
	▲	■			子どもと表現	1	演習	2	※
	▲				保育の計画と評価	2	講義	3	
	△				保育方法論	2	講義	3	
▲				障がい児保育A	1	演習	3		
▲				障がい児保育B	1	演習	3		
▲	■			保育・教職実践演習	2	演習	4		
子どもの教育			■		生活科教育	2	講義	1	※
			■		図画工作科教育	2	講義	2	※
			■		国語科教育（書写を含む）	2	講義	1	※
			☆		家庭科教育	2	講義	1	※
			■		社会科教育	2	講義	2	※
			■		算数科教育	2	講義	2	※
			■		理科教育	2	講義	2	※
			■		体育科教育	2	講義	2	※
			■		音楽科教育	2	講義	3	※
			■		外国語科教育	2	講義	1	※
				◆	特別支援教育総論	2	講義	1	※
					インターンシップ	2	実習	1	
			■		生活科教育法	2	講義	2	※
			■		図画工作科教育法	2	講義	3	※
			■		国語科教育法（書写を含む）	2	講義	2	※
			■		家庭科教育法	2	講義	2	※
			■		社会科教育法	2	講義	3	※
			■		算数科教育法	2	講義	3	※
			■		理科教育法	2	講義	3	※
			■		体育科教育法	2	講義	3	※
			■		音楽科教育法	2	講義	3	※
			■		外国語科教育法	2	講義	3	※
	△		☆		家庭教育論	2	講義	2	
	▲	■	■	■	カリキュラム論	2	講義	3	
					初等教育演習A	1	演習	2	
					初等教育演習B	1	演習	3	
					初等教育演習C	1	演習	3	
				初等教育演習D	1	演習	4		
			◆	特別支援学校教育課程論	2	講義	1	※	
			◆	知的障害者の教育	2	講義	2	※	
			◆	肢体不自由者の教育	2	講義	3	※	
			◆	病弱者の教育	2	講義	3	※	

- ▲ 保育士 必修科目
- △ 保育士 選択科目
- 教職（幼小）必修科目
- 教職（幼小）選択科目
- ☆ 教職（幼小）選択必修科目
- ◆ 教職（特支）必修科目

備考

※ 卒業要件に含まれ、かつ、履修規則第8条2にかかわらず、登録の上限を超えて履修することができる科目

①児童学科専門科目（続き）

領域	保育	幼稚園	小学校	特別支援	授業科目	単位	形態	年次	備考
子どもの福祉	▲				社会福祉	2	講義	1	
	▲				児童福祉論	2	講義	2	
	▲				社会的養護Ⅰ	2	講義	2	
	▲				社会的養護Ⅱ	1	演習	2	
	△	□		◆	発達障害の理解と支援	2	講義	2	
				◆	重複障害の理解と支援	2	講義	3	※
	▲				子育て支援	1	演習	3	
	▲				子ども家庭支援の心理学	2	講義	3	
	▲				子ども家庭支援論	2	講義	3	
				◆	視覚障害の理解と支援	1	講義	1	※
			◆	聴覚障害の理解と支援	1	講義	2	※	
子どもの健康					自然体験活動演習Ⅰ	1	演習	1	
	▲				子どもの食と栄養	2	演習	2	
			□		児童体育演習	1	演習	2	
					自然体験活動演習Ⅱ	1	演習	2	
	▲				小児保健演習	1	演習	3	
				◆	知的障害者の心理・生理・病理	2	講義	1	※
				◆	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	講義	2	※
				◆	病弱者の心理・生理・病理	2	講義	2	※
					野外活動論（児童と野外環境）	2	講義	4	
				自然体験活動実習	2	実習	4		
子どもの文化		■	■		子どもと音楽	1	演習	1	
					音楽実技A	1	演習	1	
					音楽実技B	1	演習	2	
	△				児童文化	2	講義	1	
					保育表現技術	1	演習	1	
					英語アクティビティ	1	演習	1	
					児童と身体表現	1	演習	2	
		■	■		子どもと造形	1	演習	2	
					造形表現基礎	1	演習	1	
	△		□		児童とことば	2	講義	3	
					児童と外国語A	2	講義	3	
				児童と外国語B	2	講義	3		
				児童と文学	2	講義	4		

- ▲ 保育士 必修科目
- △ 保育士 選択科目
- 教職（幼小）必修科目
- 教職（幼小）選択科目
- ☆ 教職（幼小）選択必修科目
- ◆ 教職（特支）必修科目

備考
 ※ 卒業要件に含まれ、かつ、履修規則第8条2にかかわらず、登録の上限を超えて履修することができる科目

②免許・資格取得に関わる科目のうち資格科目として履修する科目

領域	保育	幼稚園	小学校	特別支援	授業科目	単位	形態	年次	必修	備考
幼稚園・小学校・特別支援 教職に関する科目		■	■		教師・保育制度論	2	講義	2	○	
		■	■		特別支援教育論	1	講義	2	○	
			■		道徳教育論	2	講義	2	○	小のみ
			■		特別活動論	2	講義	3	○	小のみ
			■		総合的な学習の指導法	1	講義	3	○	小のみ
		■	■		教育方法・技術論	1	講義	3	○	
			■		生徒指導論	1	講義	3	○	小のみ
		■	■		教育相談論	2	講義	2	○	
			■		進路相談論	1	講義	3	○	小のみ
		■	■		小学校教職実践演習	2	演習	4	○	小のみ
		■	■		初等教育実習指導	1	講義	3	○	注）参照
		■			初等教育実習A	1	実習	3	○	
		■			初等教育実習B	3	実習	4	○	
		■		初等教育実習C	4	実習	4	○		
			◆	特別支援教育実習・実習指導	3	実習	4	○	特支のみ	
保育士	▲				保育実習指導Ⅰ	2	演習	2	○	
	▲				保育実習ⅠB（保育所）	2	実習	3	○	
	▲				保育実習ⅠC（施設）	2	実習	3	○	
	▲				保育実習指導Ⅱ	1	演習	4	○	ⅡまたはⅢのどちらかをセット（実習指導+実習）で3単位選択
	▲				保育実習Ⅱ	2	実習	4	○	選択必修
	▲				保育実習指導Ⅲ	1	演習	4	○	選択必修
				保育実習Ⅲ	2	実習	4	○		

注）初等教育実習指導は「幼稚園」と「小学校」に分かれます。指示に従って受講してください

③共通教育科目

領域	保育	教職	授業科目名	単位	年次
アカデミックスキル	○	○	リテラシー演習	1	1
		■	コンピュータ演習 a	1	1
		■	コンピュータ演習 b	1	1
文化と表現 (2単位以上)			日本の文学 (千代田三番町のみ)	2	1
			日本の言語と文化	2	1
			文章表現法	2	1
			外国の言語と文化	2	1
			異文化コミュニケーション	2	1
			民俗学	2	1
			考古学	2	1
			音楽	2	1
			美学・美術史	2	1
			色彩論	2	1
数理と情報 (2単位以上)			基礎数学 a	2	1
			基礎数学 b	2	1
			数学トピックス	2	1
			基礎統計学 a	2	1
			基礎統計学 b	2	1
			情報論 (千代田三番町のみ)	2	1
			コンピュータ概論	2	1
からだと健康 (2単位以上)			人間の体	2	1
			ダイエットとフィットネス	2	1
			レクリエーション概論	2	1
			健康スポーツ演習 a	1	1
			健康スポーツ演習 b	1	1
			健康スポーツ演習 c	2	1
			健康スポーツ演習 d	2	1
		▲	体育講義	1	1
		▲	体育実技	1	1
	自然と環境 (2単位以上)			教養の物理学	2
			教養の化学	2	1
			化学入門	2	1
			教養の生物学	2	1
			生物学入門	2	1
			自然史	2	1
			環境と資源	2	1
社会と生活 (2単位以上)		■	法学入門 (日本国憲法)	2	1
			市民と法	2	1
			社会学入門	2	1
			経済学入門	2	1
			経営学入門	2	1
			日本の歴史	2	1
			世界の歴史	2	1
			世界の地理 (千代田三番町のみ)	2	1
			国際関係論	2	1
	生活方の問題 (2単位以上)			哲学入門	2
			生命倫理	2	1
外国語 (4単位以上)			心理学 a	2	1
			心理学 b	2	1
外国語 (4単位以上)			ジェンダー論	2	1
			東京家政学院を学ぶ	2	1
			Basic English 1	1	1
			Basic English 2	1	1
		☆	Listening&Speaking 1	1	1
		☆	Listening&Speaking 2	1	1
			Reading & Writing 1	1	1
			Reading & Writing 2	1	1
		☆	Communication English 1	1	1
		☆	Communication English 2	1	1
			英語検定対策講座	1	1
		☆	フランス語入門 1	1	1
		☆	フランス語入門 2	1	1
			フランス語初級 1 (千代田三番町)	1	1
			フランス語初級 2 (千代田三番町)	1	1
		☆	ドイツ語入門 1	1	1
		☆	ドイツ語入門 2	1	1
			ドイツ語初級 1	1	1
			ドイツ語初級 2	1	1
		☆	中国語入門 1	1	1
	☆	中国語入門 2	1	1	
		中国語初級 1 (千代田三番町)	1	1	
		中国語初級 2 (千代田三番町)	1	1	
	☆	韓国語入門 1	1	1	
	☆	韓国語入門 2	1	1	
		韓国語初級 1	1	1	
		韓国語初級 2	1	1	
総合演習			海外研修 (英語研修)	2	1
			海外研修 (異文化理解)	2	1
			英会話集中講座	1	1
			地域貢献活動	1	1
日本語・日本事情		留学生のみが履修できる科目	アカデミック・ジャパニーズ1	2	1
			アカデミック・ジャパニーズ2	2	1
			日本の歴史と文化	2	1
			日本語ラボa	1	1
			日本語ラボb	1	1
			日本語ラボc	1	1
			日本語ラボd	1	1
キャリアデザイン			社会人としての日本語	1	1
			キャリアデザイン概論	2	1
			キャリアデザインa	1	2
			キャリアデザインb	1	2

＜卒業必要最低単位数：20単位以上＞
 ・リテラシー演習 1 単位は必修
 ・総合演習、キャリアデザイン以外の各領域では表記の最低修得単位数は必修
 ・必修 1 単位、7 領域最低修得単位数 16 単位の他に共通教育科目全領域から 3 単位以上修得し、共通教育科目で合計 20 単位以上修得すること

- 全学生必修
- ▲ 保育士 必修科目
- △ 保育士 選択科目
- 教職 (幼小) 必修科目
- ☆ 教職 (幼小) 選択必修科目

保育士必要単位数
 1) 外国語、体育講義・体育実技を除く土曜選修科目から 6 単位以上必要
 2) 外国語から 2 単位以上必要
 3) 体育講義・体育実技は必修

教職 (幼・小・特支) 必要単位数
 1) 法学入門、コンピュータ演習 a, b は必修
 2) 体育はからだと健康領域の ☆ から 2 単位以上必要
 3) 外国語は外国語領域の ☆ から 2 単位以上必要